有明工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語コミュニケーションB

科目基礎情報

科目番号	0012	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	創造工学科(エネルギーコース)	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	前期:1 後期:1
教科書/教材	Revised BIG DIPPER English Communication Ⅲ：数研出版　高校英語 Harvest 3rd Edition：鈴木希明 / 桐原書店 Date Base 3000 3rd Edition：桐原書店		
担当教員	山下 和美		

到達目標

到達目標
1.情報や考えなど゛について,英語で゛話し合ったり意見の交換をしたりすることが゛で゛きる。 情報や考えなど゛について理解し,英語で゛簡潔に書くことが゛で゛きる。
2.英語を聞いて,情報や考えなど゛を理解したり,概要や要点を捉えたりすることが゛で゛きる。 英語を読んで゛,情報や考えなど゛を理解したり,概要や要点を捉えたりすることが゛で゛きる。
3.英語の仕組み,使われている言葉の意味や働きなど゛を理解しているとともに,言語の背景にある文化を理解している。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	情報や考えなど゛につい て,英語で゛話し合ったり 意見の交換をしたりす ることが゛で゛きる。 情報や考えなど゛につい て理解し,英語で゛書いた り説明したりで゛きる。	情報や考えなど゛に ついて,英語で゛話し 合ったり意見の交 換をしたりすること が゛で゛きる。情報や考えなど゛について 日本語を交えつつ 英語で゛説明で゛きる。	情報や考えなど゛につ いて,英語で゛話し合っ たり意見の交換をし たりすることが゛で゛き ない。 情報や考えなど゛につ いて説明で゛きない。
評価項目2	英語を聞いて,情報や考 えなど゛を理解したり,概 要や要点を捉えたりす ることが゛で゛きる。 英語を読んで゛,情報や考 えなど゛を説明したり,概要や要点を捉えたりす ることが゛で゛きる。	英語を聞いて,情報 や考えなど゛を理解 したり,概要や要点 を捉えたりするこ とが゛で゛きる。 英語を読んで゛,情報や考えなど゛を説明で゛きる。	英語を聞いて,情報や 考えなど゛を理解した り,概要や要点を捉え たりすることが゛で゛き ない。 英語を読んで゛,情報や考えなど゛を説明で゛き ない。
評価項目3	英語の仕組み,使われて いる言葉の意味や働き など゛を把握するととも に,言語の背景にある文 化を説明で゛きる。	英語の仕組み,使わ れている言葉の意 味や働きなど゛を説 明で゛きる。	英語の仕組み,使われ ている言葉の意味や 働きなど゛を説明で゛き ない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 A-3

教育方法等

概要	国際感覚を備えた技術者となるためには、英語によるコミュニケーション 能力は必要不可欠なもので゛ある。 この科目おいてはコミュニケーション 能力の中の「読む」能力の養成に焦点が゛絞られている。低学年時に培った 英語力を対人コミュニケーションの場において使用するためには、より難 解な文章を速やかに読みこなすことが゛で゛きる英文読解能力が゛必要不可欠 で゛ある。今後ますます技術者が゛海外へ渡る機会が゛増えていく実情を考え ると、専門分野を問わず゛技術者にとって英語が゛欠かすことので゛きないもの となることを認識しなければ゛ならな い。 本授業で゛は2つの目標を設定する。 第1の目標は、与えられた英文を速やかに理解すると同時に、自分にとっ て必要な情報を英文からスキャニ ング゛する能力を獲得すること で゛ある。 リーデ゛ィング゛をより速く行うためには、自分にとって必要な情報が゛何な のかを明確に意識した上で゛、情報を取捨選択しつつ英文を読み進める必要 が゛ある。このような「英文を読む上で゛のスキル」をより深めることが゛こ の科目の主たる目標で゛ある。 第 2 の目標は、4 年次に校内で゛行われる TOEIC IP を受験するために必要 な語彙力の獲得、英文法理解を達成 し、400 点を越えるホ゜イントを獲得 で゛きるだ゛けの英語運用能力を身につけることで゛ある。長文が゛多く出題され る TOEIC においてスピ゜ート゛リーデ゛ィング゛および゛スキャニング゛は必要不可 欠な技能で゛あるといえる。3 年生にふ さわしい語彙力を身につけつつ、こ れらの技能を向上させることが゛求められる。
授業の進め方・方法	メインテキストの偶数レッスンを基に、英文読解中心の講義で進めていく。
注意点	評価方法:各定期試験の成績 60%、レホ゜ート・ノート等の提出物や小テス トの成績 40%の比率で゛評価 評価基準:60 点

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス	授業の進め方や評価方法について理解できる。
		2週	L2Three Tips for Maintaining a Conversation	社会生活で必要な会話をする力，会話を続ける３つのコツとは
		3週	L2Three Tips for Maintaining a Conversation	社会生活で必要な会話をする力，会話を続ける３つのコツとは
		4週	L4My Opinion of Zoos	「動物園の是非」に関する賛成・反対それぞれの主張
		5週	L4My Opinion of Zoos	「動物園の是非」に関する賛成・反対それぞれの主張
		6週	L6After the Flowers	植物が行う生存戦略，タンポポ，オオバコ，スミレの例を紹介
		7週	L6After the Flowers	植物が行う生存戦略，タンポポ，オオバコ，スミレの例を紹介
		8週	前期中間試験（実施しない）	
	2ndQ	9週	L8Kintsugi	日本の「もったいない精神」を体現した伝統的技術 ―金継ぎのすばらしさ
		10週	L8Kintsugi	日本の「もったいない精神」を体現した伝統的技術 ―金継ぎのすばらしさ
		11週	L10Art on Display	博物館の案内文から，展示内容，営業時間，料金など必要な情報を読み取る
		12週	L10Art on Display	博物館の案内文から，展示内容，営業時間，料金など必要な情報を読み取る
		13週	L12She Sells Seashells by the Seashore	レッスンタイトルの早口ことばのモデルとなった，化石を発見した少女メアリー・アニング

		14週	L12She Sells Seashells by the Seashore	レッスンタイトルの早口ことばのモデルとなった，化石を発見した少女メアリー・アニング
		15週	L12She Sells Seashells by the Seashore	レッスンタイトルの早口ことばのモデルとなった，化石を発見した少女メアリー・アニング
		16週	前期末試験	
後期	3rdQ	1週	試験返却および問題解説	前期末試験を振り返って、定着していない英単語・熟語・文法事項について復習し、知識の定着を図ることができる。
		2週	L14Swimwear for Speed	努力か水着か ― 最新技術を駆使した競泳用水着が記録に与える影響
		3週	L14Swimwear for Speed	努力か水着か ― 最新技術を駆使した競泳用水着が記録に与える影響
		4週	L14Swimwear for Speed	努力か水着か ― 最新技術を駆使した競泳用水着が記録に与える影響
		5週	L16Antarctica by Cruise Ship	南極クルージングの広告から，旅行日程・航路・ツアー内容を読み取る
		6週	L16Antarctica by Cruise Ship	南極クルージングの広告から，旅行日程・航路・ツアー内容を読み取る
		7週	L16Antarctica by Cruise Ship	南極クルージングの広告から，旅行日程・航路・ツアー内容を読み取る
		8週	後期中間試験（実施しない）	
	4thQ	9週	L18Let’s Try English Presentations!	急増する訪日外国人客数について，高校生のミキが英語でプレゼンテーションをする
		10週	L18Let’s Try English Presentations!	急増する訪日外国人客数について，高校生のミキが英語でプレゼンテーションをする
		11週	L18Let’s Try English Presentations!	急増する訪日外国人客数について，高校生のミキが英語でプレゼンテーションをする
		12週	L20Endangered Languages	消滅の危機に瀕している世界の言語，日本ではアイヌ語などについて
		13週	L20Endangered Languages	消滅の危機に瀕している世界の言語，日本ではアイヌ語などについて
		14週	L20Endangered Languages	消滅の危機に瀕している世界の言語，日本ではアイヌ語などについて
		15週	L20Endangered Languages	消滅の危機に瀕している世界の言語，日本ではアイヌ語などについて
		16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0